

The page features a decorative design with three blue circles of varying sizes, each composed of concentric circles in different shades of blue. These circles are arranged vertically on the right side of the page. Two thin blue lines originate from the top left and extend diagonally across the page, framing the circles and the text area.

新島学園短期大学 コメンテーターズ 一覧

取材等でコメンテーターをお捜しの場合に参考資料としてご活用ください。

2018 年度

コメンテーターズ・ガイド 目次

キャリアデザイン学科

職名	氏名	キーワード	掲載頁
学長・教授	岩田 雅明	大学経営、2018年問題、大学淘汰、大学倒産、大学の広報活動、大学の選び方、他	2
学科長・教授	小林 俊哉	アメリカ文学、アメリカ演劇、アメリカ文化、アメリカのマスメディア、他	3
教授	駒田 純久	マーケティング、流通経営、ビジネス教育、キャリア教育	4
教授	高山 有紀	年中行事、衣食住、奈良、法会、僧侶、他	5
教授	前田 浩	英語学、英文法、英語表現、英語音声	6
教授	山本 有紀	キリスト教神学、キリスト教礼拝学、説教、賛美歌学	7-8
准教授	堀田 学	少子高齢化、地方行政、地方政治、福祉行政、福祉国家	9
准教授	松田 慎一	開発経済、開発金融、マイクロファイナンス、金融論、経済理論	10
専任講師	大塚 敬義	病院情報システム、医療における情報処理、電子カルテ、医療用語辞書	11
専任講師	R. A. Maher	アメリカ文学、英語イマージョン教育	12-13

コミュニティ子ども学科

職名	氏名	キーワード	掲載頁
学科長・教授	渡邊 哲也	多文化、異文化、キリスト教保育、心の教育 ECEC (Early Childhood Education and Care) 他	14
教授	澤田まゆみ	ドビュッシーの音響技法、山田耕筰、安部幸明のピアノ曲、キリスト教と音楽	15
教授	福島 秀起	和太鼓	16
准教授	櫻井 剛	表現、造形、図画工作、立体造形	17
准教授	成田小百合	子ども、母親、心理臨床、母子画、遊戯療法、トラウマ	18
准教授	八幡眞由美	保育、幼児教育、子育て環境、子育てバリアフリー、児童文化・児童文学	19
専任講師	小菅 ゆみ	保育士、児童自立支援施設、自立、寄り添う	20
専任講師	清水 洋生	認知発達、遊び、道徳性発達 (規範意識)、保育者養成	21
専任講師	増田 泉	国語科教育学、論理的文章の読み方・書き方の指導法、伝統的な言語文化の指導法	22

氏名 岩田 雅明 (イワタ マサアキ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 学長・教授

専門領域 高等教育 (大学経営、広報)

専門の概要 大学の経営戦略策定と、その展開についての考察を専門としています。戦略をつくり、それをきちんと展開するために必要な視点と、マネジメントについて取り扱っています。また、18歳人口の減少による定員割れの中、効果的に大学の良さを伝える広報戦略も専門としています。

備考

<著書>

- 「未来が輝く大学の選び方」 2009年4月、エール出版
- 「実践的学校経営戦略」 2009年8月、ぎょうせい
- 「高校生のキャリアデザインと新しい大学・短大の選び方」
2010年8月、ぎょうせい
- 「生き残りをかけた大学経営戦略」 2013年1月、ぎょうせい
- 「大学の戦略的広報」 2014年8月、ぎょうせい
- 「戦略的大学職員養成ハンドブック」 2016年2月、ぎょうせい

<出演等>

- TBSラジオ「Gaku-Shock」 高校生のキャリアデザインについて
2010年12月
- 群馬テレビ「ビジネスジャーナル」
2012年より、コメンテーター
- BS-TBS「NEWS21」 「就職率をアップせよ・・・大学の学生獲得作戦」
2013年2月

キーワード 大学経営、2018年問題、大学淘汰、大学倒産、大学の広報活動、大学の選び方、キャリア教育

氏名 小林 俊哉 (コバヤシ トシヤ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 教授

専門領域 アメリカ文学、アメリカ文化

専門の概要 アメリカ 20 世紀文学、とくにウィリアムズやオールビなどの演劇作家を専門としています。メディア大国としての米国にも関心を持ち、とくに近年ネット情報に対して苦戦を強いられている新聞に焦点を絞り、今後の再生や発展の可能性を探っています。

備考

< 著書 >

- (共著) 『チャリング・クロス街 84 番地』における米口語選択
『ヘレーン・ハンフ論纂』(開文社) 1987 年 3 月
- (共著) 「Marty: テレビと映画」『パディ・チェイエフスキー論纂』
(開文社) 1989 年 3 月
- (共著) 「ローズ劇のドラマツルギー」『レジナルド・ローズ論纂』
(開文社) 1995 年 3 月
- (共著) 「日米新聞比較」「アメリカ的価値観の根幹—
『セールスマンの死』を手がかりとして」『地域研究入門--多文化理解の基礎』(開文社) 1997 年 4 月
- (共著) 「文学とキャリアデザイン—アメリカ文学におけるキャリア観
『セールスマンの死』をめぐって」
『キャリアデザインの多元的探求』(現代図書) 2008 年 2 月

< 主な論文 >

- 「*Who's Afraid of Virginia Woolf?* と『架空の息子』の役割」『弘前学院大学・短期大学紀要』第 22 号 1986 年 3 月
- 「*An Almanac of Liberty: その思想性と娯楽性*」『放送芸術学』第 5 号
1989 年 12 月
- 「アメリカにおける新聞の現状と今後 (その 1)」
『新島学園短期大学紀要』第 27 号 2007 年 3 月
- 「アメリカにおける新聞の現状と今後 (その 2)」
『新島学園短期大学紀要』第 29 号 2009 年 3 月
- 「アメリカにおけるメディアリテラシー (1) ...1990 年代前半まで」『新島学園短期大学紀要』第 31 号 2011 年 3 月
- 「アメリカにおけるメディアリテラシー (2) 1996 年から 2000 年まで」『新島学園短期大学紀要』第 34 号 2014 年 3 月

キーワード アメリカ文学、アメリカ演劇、アメリカ文化、アメリカのマスメディア、アメリカの新聞、メディアリテラシー

氏名 駒田 純久 (コマダ スミヒサ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 教授

専門領域 マーケティング、流通

専門の概要 企業のマーケティング活動、とくにメーカーの流通チャネル戦略や卸・小売業のマネジメントを専門としています。また、最近の関心は、これから必要とされる商業（ビジネス）教育にあります。

備考 <著書>
●論文「商業教育の変容と商人像」2009年、関西学院大学『商学論究』
●『1からの戦略論 第2版』（共著）2016年、碩学舎

キーワード マーケティング、流通経営、ビジネス教育、キャリア教育

氏名 高山 有紀 (タカヤマ ユキ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 教授 学生部長

専門領域 日本教育史、日本中世史

専門の概要

中世奈良の寺院で毎年開催された法会（ほうえ）の内容、特に僧侶の養成・教育に関わる部分について、その変遷を研究してきました。教育には、今も昔も変わらない点があり、時代を下り他の時代の教育と比較してみると新しい発見があります。また、仏教と関わりの深い年中行事や、衣食住の習慣、思想を通じて、日本文化を論じることにも関心を持っています。

備考

(論文)

「中世南都の寺院法会と僧具 ―その宗教的・社会的役割に関する一考察―」日本比較文化学会関東支部編『比較文化学の地平を拓く』（開文社出版 2014年）所収

「中世の慈恩会」奈良女子大学古代学学術研究センター設立準備室編『儀礼にみる日本の仏教 ―東大寺・興福寺・薬師寺―』（法蔵館 2001年）所収

(項目執筆)

『年中行事大辞典』吉川弘文館 2010年

キーワード

年中行事、衣食住、奈良、法会、教育史

氏名 前田 浩 (マエダ ヒロシ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 教授

専門領域 英語学

専門の概要 「英語学」は英語では **English linguistics** と言います。文字通り「英語の言語学」を意味します。英語学とは、英語の科学的研究で、一見何の規則性のない英語の事例の中に潜む規則性を発見し、そこにどのような規則が働いているか仮説を立て、それを証明するという科学的手法を取る学問分野です。英文法、英語表現（特に、口語英語表現）、英語音声に関して興味深い話をすることを比較的得意としています。

備考

<著書>

- 「**Handsome** の女性に用いられる用法—アンケート調査とコーパスを用いて—」『比較文化学の地平を拓く』日本比較文化学会関東支部（編）、2014年3月30日、開文社出版
- 「曖昧語の曖昧性を取り除く—日英語の蓋然性を表す副詞を中心に—」『比較文化学論纂』芳賀馨（編）、1998年4月20日、開文社出版

<翻訳協力>

- 『小学館 オックスフォード 英語コロケーション辞典』八木克正（監）、2015年2月9日、小学館

<論文>

- 「映画『赤毛のアン』における呼びかけ語としてのフルネームの使用」『大塚フォーラム』第31号、2013年11月25日、大塚英語教育研究会
- 「大学生の英語音声習得の現状とその発音記号習得との関連性」『新島学園短期大学紀要』第33号、2013年3月31日、新島学園短期大学
- 「文法性と容認可能性」『英語表現研究』第18号、2001年6月1日、日本英語表現学会

<講演>

- 「文法は誤読を救う」、2015年6月14日、外国語学校エスパス

<所属学会>

- 日本英語学会 ● 英語語法文法学会 ● 日本英語表現学会
- 日本比較文化学会（幹事） ● 大塚英語教育研究会（幹事）
- 映画英語教育学会 ● 筑波英語教育学会

<資格>

- 実用英語技能検定1級 ● 国際連合公用語英語検定試験A級
- 通訳案内業試験 ● 日本語教育能力検定試験

キーワード 英語学、英文法、英語表現、英語音声

氏名：山本 有紀
所属：キャリアデザイン学科
職名：教授（宗教主任）

専門領域：キリスト教神学、キリスト教礼拝学、説教学、賛美歌学

専門の概要：

キリスト教の礼拝を、儀式＝リチュアルとして分析・考察する。同じ信仰を共有する人々＝信仰共同体が、その信仰の正典である聖書の物語を、社会生活における今日的な課題と対峙する中でどう解釈し、公の場における「信仰的応答」として具体化していくか、その「通路」として礼拝をとらえ、そこに立ち上がる「神学」を言語化・可視化する。また、信仰共同体が、具体的な課題に対しての応答を成そうとするときに、そのふさわしい「器」としての礼拝を創造する方法論を実践を通して模索する。ことに、芸術的方法論との協働を目指す。

論文・発表・実践など

*論文

- 「賛美歌のことばを分析（アナリゼ）する：「讃美歌 21」550 番」 礼拝と音楽 (No.174 2017): 28-32
- 「礼拝の中の身体の『居場所』」 礼拝と音楽 (No.169 2016): 22-26
- 「高等教育現場におけるキリスト教主義教育のこれから
：松山東雲の場合～教職員アンケートから見えてくるもの～」
松山東雲女子大学紀要 第 21 巻 2013 年：121-150
- 「多くの食卓、多くの記憶：『想起の業』における多様性受容とその政治倫理」
福音と世界 (January 2006) :41-45
- A Musical Prophet Comes with the Sound of Bamboo: I-to Loh
－ Hymnology as Theology of Contextualization -
礼拝音楽研究 No. 4 (2004):25-72
- 「ことばはからだになっているか：『礼拝(リタージ)の文法』という視点から」
礼拝と音楽 (No.120 2004): 26-31
- 「祭司の民の祝宴の給仕： 礼拝における牧師の祭司性」
福音と世界 (June 2002): 22-26
- 「ゴッド・ブレス・アメリカ： その礼拝学的一考察」
福音と世界 (February 2002):34-37
- 「世界教会一致運動の現在と聖餐論：今、私たちの教会に問われていること」
福音と世界 (May 2000): 33-38

● 「包括的表現： 教会の『宣教の言葉』として」

福音と世界 (September 1997): 26-29

*口頭発表・講演

- 2005年 キリスト教礼拝音楽学会 於・明治学院 白金キャンパス
「礼拝音楽の多面性・礼拝学・音楽学：日本の文脈での「礼拝の神学」構築
の視点から」
- 2006年 キリスト教礼拝音楽学会・日本音楽学会関東支部 合同例会 発表
於・東京音楽大学 「駱 維道：文脈化の神学としての賛美歌学」
- 2006年 日本賛美歌学会年次大会 駱 維道 博士 講演通訳
於・日本基督教団 神戸栄光教会
- 2012年 第63回日本音楽学会全国大会シンポジウム シンポジスト
於・京都西本願寺聞法会館
「地域発、生活発、共同体発、1950年代以降のキリスト教各派の新しい讃美歌
— 伝統と信仰の普遍性を越えて」
- 2014年 キリスト教学校教育同盟関西地区協議会大学部会研究集会
於・松山東雲女子大学 実践報告（口頭発表）

*ワークショップ・講習会講師

- 2008年 日本基督教団 洲本教会 女性会研修会 講師
「豊かな礼拝体験を探る」
- 2009年 日本基督教団 蒲田教会 教会研修会 講師
「豊かな礼拝体験のために：私たちの礼拝と主の食卓を考える」
- 2010年 日本基督教団上井教会 日本基督教団岡山教会
日本基督教団 東中国教区 教育部
「ことばがからだになるとき：おいしい礼拝生活のために」 講師
- 2010年 3月20日 於・日本基督教団岡山教会 日本基督教団
東中国教区 女性教職の会 勉強会 講師
「教団主日日課による『礼拝の季節と暦』：構造、解釈、そして実践へ」
- 2010年 日本基督教団 須磨教会 教会研修会 講師「わたしたちが礼拝する理由」
- 2012年 日本基督教団松前教会 教会研修会「礼拝の暦でたどる『讃美歌21』」講師
- 2014年 日本基督教団岡本教会 教会研修会 講師
- 2017年 日本基督教団岡山教会「礼拝と音楽についての学び」講師

氏名 堀田 学 (ホッタ マナブ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 准教授

専門領域 政治学・行政学（地方自治、人口減少社会、福祉国家）

専門の概要 福祉国家について理論的な考察を中心に研究を行ってきました。また、福祉行政の主体が地方自治体であることから地方自治にも研究の視野を広げ、最近では人口減少社会に関心を持っています。

備考 <著書（共著）>
●「少子高齢社会の福祉政策—地方分権とローカル・ガバナンス」山本啓編『ローカル・ガバメントとローカル・ガバナンス』2008年2月、法政大学出版社
●「日本の少子化政策」岡沢憲英・小淵優子編『少子化政策の新しい挑戦—各国の取組みを通して』2010年4月、中央法規出版
●「ローカル・ガバナンスと地方議会改革」片木淳・藤井浩司編『自治体経営入門』2012年5月、一藝社
●「地域医療・介護政策—地域包括ケアシステムにおける自治体行政の役割」縣公一郎、藤井浩司編『ダイバーシティ時代の行政学』2016年10月、早稲田大学出版部

キーワード 少子高齢化、地方行政、地方政治、福祉行政、福祉国家

氏名 松田 慎一 (マツダ シンイチ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 准教授

専門領域 開発金融論 経済理論

専門の概要 金融を研究対象の中心としています。特に「途上国における貧困」が研究テーマのひとつです。貧しい人々を対象とした金融サービスの提供を行う、マイクロファイナンスに関する研究を行っています。マイクロファイナンスは、無担保かつ無審査で、貧困層の人々に小口資金の貸し付けや、預金、保険などのサービスを提供しながら高い収益を誇り、ビジネスとしても成功を収め、市場も世界の国々で成長を続けています。

備考 <研究業績>
● (単著) 「社会的制裁とグループ貸付」新島学園短期大学紀要 第 34 号, 2014 年

● (共著) ” A Microstructural Effect of Japanese Official Intervention in the Yen/Dollar Foreign Exchange Market” Nova Science Publishers, Inc. , 2013 年

● (共著) 「マイクロファイナンスにおける新たな潮流 -ASA によるグループ貸付の実例から-」日本政策金融公庫 第 10 号, 2011 年

キーワード 開発経済、開発金融、マイクロファイナンス、金融論、経済理論

氏名 大塚 敬義 (オオツカ タカヨシ)
所属 キャリアデザイン学科
職名 専任講師

専門領域 ①医療情報学 (病院情報システム) / ②自然言語処理 (コンピュータによる文章解析)

専門の概要 ①病院における I C T (情報通信技術) の利用について。特に電子カルテシステムの運用にまつわる事柄など。②グーグルやヤフーといった検索エンジンの基礎技術について。特に医療分野における言語資源の利活用 (医療機関で用いる文書の解析) など。

備考 <論文>
単著
●大塚敬義:「短期大学の業務や授業におけるドローン活用の試み」, 新島学園短期大学紀要 (37), 2017年3月.
●大塚敬義:「ATOK2014 医学辞書における用語カバー率に関する調査」, 新島学園短期大学紀要 (36), 2016年3月.

<講演・口頭発表等>
●「短大ビジネス系学科における統計学教育のあり方について」(共著), 平成28年度 教育改革 ICT 戦略大会 (於 私立大学情報教育協会, 東京), 2016年.

<学会発表>
●「精神科単科病院における DPC データを活用した再入院の分析」(共著), 第40回 日本診療情報管理学会学術大会 (於 岩手県盛岡市), 2014年.

キーワード 病院情報システム, 医療における情報処理, 電子カルテ, 医療用語辞書

氏名 Richard A. Maher (リチャード A. マハー)

所属 キャリアデザイン学科

職名 専任講師

専門領域 アメリカ文学

専門の概要 Literature has a place in the EFL (English as a Foreign Language) curriculum. Literature expands language awareness by exposing students to authentic vocabulary and grammar structures. Also, it is a window to other cultures, customs, and ways of thinking. Literature encourages critical thinking and discussion about characters, plot, and social commentary. In addition, reading about the ideas and experiences of others helps students think about their own experiences and develop their own original ideas. It can inspire the imagination of students because they can talk about their feelings and opinions. Finally, literature can motivate students to read in English and their native language, and foster love for the written word.

文学は EFL (外国語としての英語) のカリキュラムにおいて重要です。文学は、本格的な語彙や文法構造に学生が触れることによって、言語意識を広げます。また、それは他の文化、習慣、そして思考の方法を知る鍵となります。文学は小説の人物やストーリーや社会的な論評について、クリティカル・シンキングやディスカッションを促します。また、他人のアイデアや経験について読むことは、学生が自分の経験について考え、自分の独創的なアイデアを発展させることができます。自分の感情や意見について話すことができるので、文学は、学生の想像力を刺激します。最後に、文学は学生に英語や母国語で読む意欲を高め、そして本を好きになるきっかけとなります。

備考

< 著書 >

●“Falling Back into the World: Joanne Kyger’s Verse during her First Year in Japan”

「現世への回帰：ジョアン・カイガー滞日一年目の詩作」

2016年03月、新島学園短期大学紀要36号

●“Notwithstanding the Broken English and Imperfect Grammar”: A Short Analysis of Joseph Hardy Neesima’s Letters in English

「片言の英語と不完全な文法にもかかわらず」：新島襄の英語

で書かれた手紙の分析 2015年3月、新島学園短期大学紀要35号

●Ringing the Bell: The Man, the Mountain, and the City in Lew Welch’s *Hermit Poems* and “The Way Back”

鐘を鳴らす：ルー・ウェルチの「隠者の詩」と「ザ・ウェイ・バック」における男、山と街 2014年3月、新島学園短期大学紀要34号

●Hunting and Gathering Culture: Daily Life, the Seasons, and the Expatriate Experience in Philip Whalen’s Japan Poems

文化を狩り、そして摘む：フィリップ・ウェイレンの日本の詩における日常生活季節、および海外在住者の経験

2013年3月、新島学園短期大学紀要33号

●「国人あら見た」シリーズ①：“高崎のいいところ”

2013年6月7日、ちいきしんぶん

●Memory Stretches and Love Streams: Interconnectivity, Nature, and

Romance in Michael McClure's "Dear Being"

追憶の拡張と愛の流れ：マイケル・マクルーアの「ディア・ビーイング」
に

おける相互接続性、自然と恋愛感情 2012年3月、
新島学園短期大学紀要32号

- Food for Thought: マハーさんが思うこと、感じること
2012年1月～12月(月一回)、上毛新聞 TAKATAI
- Gregory Corso's "The American Way": Then and Now
グレゴリー・コールソの「ザ・アメリカン・ウエー」:その当時と今
2011年3月、新島学園短期大学紀要31号
- Food for Thought: マハーさんが思うこと、感じること
2011年1月～12月(月一回)、上毛新聞 TAKATAI

<出演等>

- 新島学園短期大学2014年度キャリアデザイン学科公開講座
"10 Years Abroad: Evaluating Joseph Neesima's English Skills"
「米国留学10年間：新島襄の英語能力評価」2014年8月30日
- 2012年度群馬県茶道会総会・講演会
「日本での15年：アメリカ人の視点」2012年6月11日
- 新島学園短期大学2012年度キャリアデザイン学科公開講座
"Evaluating President Obama's 1st Term"「オバマ大統領の4年間のキャ
リア形成」2012年8月25日

キーワード アメリカ文学、英語イメージ教育

氏名 渡邊 哲也 (ワタナベ テツヤ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 学科長・教授
専門領域 海外保育・キリスト教保育
専門の概要 海外、主に欧米における乳幼児の教育とケア (Early Childhood Education and Care) と日本の幼児教育・保育。
キリスト教主義の保育者養成という視点から心の教育。

備考

<学会発表>

- 「キリスト教保育を巡る保育者養成の実際と課題」 2017年5月、第70回保育学会(口頭発表、共同)
- 「「保育・教職実践演習」を通して保育者の専門職性を探る」 2017年5月、第70回保育学会(口頭発表、個人)
- 「Christian Education and Child minder and Kindergarten Teacher Training based on Survey」 2016年7月、OMEP(世界幼児教育・保育機構)大会 梨花女子大学、ソウル、韓国(ポスター発表、個人)
- 「キリスト教主義に基づく保育者養成課程の考察 一心の教育を通して保育の専門性を身に付ける」 2015年9月、全国保育士養成協議会 第54回研究大会(ポスター発表、個人)
- 「Christian Education and Caregiver and Kindergarten Teacher Training in one community, Japan」 2015年7月、OMEP Washington D.C. (筆頭発表者、口頭発表、共同研究)
- 「キリスト教教育と保育者養成」 2015年5月、第68回保育学会(筆頭発表者、口頭発表、共同研究)
- 「地域教会との連携についての考察」 2009年8月、日本キリスト教教育学会 第21回学会大会(口頭発表、個人)
- 「学びの基本姿勢の再構築に向けての取り組み ー授業の実例紹介ー」 2008年9月、全国保育士養成協議会 第47回研究大会(口頭発表、個人)
- 「理論と実践を融合した協働的教育方法の可能性 ー幼稚園と連携したフィールドワーク実践演習の試みを通してー」 2008年9月、全国保育士養成協議会 第47回研究大会(口頭発表、共同研究)

<著書>

- 「『これからの保育と教育』第5章 保育・幼児教育のはじまりと思想 ー子どもの目を見つめた先人たちー」、2018年4月、八千代出版株式会社(共著)
- 「平成28年度 専門委員会課題研究報告書 保育実習指導科目のシラバスからみえる指導の実際と課題」、2017年6月、一般社団法人 全国保育士養成協議会(共著)
- 「地域に根ざした『教職実践演習』を考える」、2017年7月、新島学園短期大学 紀要 第38号(共著)
- 「学生の学びの基本姿勢の再構築への取り組みー指定保育士養成・幼稚園教諭課程認定大学として」、2009年3月、新島学園短期大学紀要第29号
- 「指導計画におけるドキュメンテーション」 2006年3月、新島学園短期大学紀要第26号

キーワード 多文化、異文化、ECEC (Early Childhood Education and Care)、OECD、キリスト教保育、心の教育

氏名 澤田 まゆみ (サワダ マユミ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 教授

専門領域 音楽 (ピアノ)

専門の概要 ピアノ演奏を専門とし、バッハから現代作曲家までのレパートリーをもちますが、とくにドビュッシーの音響技法や山田耕筰、安部幸明のピアノ曲に精通しています。また、音楽を乳幼児と分かち合う活動や、キリスト教と音楽の関係についても研究・取組みを続けています。

備考

<主要公演>

- 「ショパン没後 150 年記念リサイタル」 2003 年 10 月、フランス/パリ
- 「演連コンサート 澤田まゆみピアノリサイタル」 2008 年 6 月、東京
- 「IX International Conservatory Week Festival」にて邦人作品演奏 2009 年 11 月、ロシア/サンクトペテルブルク
- 「澤田まゆみピアノリサイタル my favorites シリーズ」 2012 年～、東京
- 「ドビュッシーと音楽散歩 ピアノ作品全曲演奏会」 2013 年～、高崎
- 「高崎音楽祭 2013」にて群馬交響楽団と共演 2013 年 9 月

<論文>

- ドビュッシー《6つの古代碑銘》(ピアノ二手版)の演奏について 2011 年 3 月、新島学園短期大学紀要 31 号
- 保育士・幼稚園教諭に求められるピアノ・スキルとは何か 2013 年 3 月、新島学園短期大学紀要 33 号
- 安部幸明作曲 やさしいこどものピアノ曲集《夢の世界》について 2014 年 3 月、新島学園短期大学紀要 34 号

<著書・CD>

- 「キリスト教とともに学ぶ音楽」 2010 年 4 月、聖公会出版
- 「曼珠沙華 山田耕筰 ヴァイオリンとピアノのための作品」 2011 年 2 月、ミッテンヴァルト
- 「夢の世界／子供の領分」 2014 年 5 月、ミッテンヴァルト

<その他>

- 上毛芸術文化賞受賞 2007 年 3 月
- オピニオン 21<視点>委員 (上毛新聞社) 2008～2009 年
- ショパン国際ピアノコンクール in アジア 審査員 2012 年～
- 日本演奏連盟会員、ぐんま日独協会理事、群馬音楽協会事務局次長
- 高崎経済大学附属高等学校芸術コース音楽系講師 2006 年～
- 上田ーウィーンアカデミー参加アーティスト 2010 年～

キーワード ドビュッシーの音響技法、山田耕筰、安部幸明のピアノ曲、キリスト教と音楽

氏名 福島 秀起 (フクシマ ヒデキ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 教授

専門領域 表現「和太鼓」

専門の概要 伝統楽器「和太鼓」

「打てば響く」太鼓の奥深さを探究し、現在では地域の子供から大人をはじめ、現場の教職員も太鼓を通じて関わりを深めております。現在、和太鼓の道場を開き地域活動や発表を含む指導や作曲を手掛けております。

備考

1990年～

- ・ 前職場（川越市）で「音出舞座」として太鼓グループを結成。各種イベントに出演
- ・ 依頼を受けた全国の保育園、幼稚園、各種団体の太鼓指導
- ・ 地方で保育園、幼稚園の教諭に向けて宿泊講習会を開催

2000年～

- ・ 高崎市保育専門学校にて「表現」の授業で和太鼓を取り入れ指導
- ・ 現在、職場でも「職員太鼓」を導入し、行事等で披露
- ・ 太鼓道場「風馬」を開設し、12年目を迎え現在に至る

キーワード 和太鼓

氏名	櫻井剛 (サクライ タカシ)
所属	コミュニティ子ども学科
職名	准教授
専門領域	立体造形、美術教育
専門の概要	幼児の造形表現における自然の素材についての考察を専門としています。さらに具所的な立体造形の製作を専門としています。
備考	<p><学会発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの木工 加工について」第66回日本保育学会大会(中村学園大学)、2013年5月11日 ・「子どもの木工 つなげる、組み合わせる」第65回日本保育学会大会(東京家政大学)、2012年5月4日 <p><論文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育内容(表現)における劇的要素を含む授業について」清泉女学院短期大学、『清泉女学院短期大学研究紀要』第34号(2015)、2016年3月、(共著) ・「演劇に関する研究の動向 ー日本保育学会年次大会(2001~2015)における研究発表を中心にー」『有明教育芸術短期大学紀要』第7巻、有明教育芸術短期大学、2016年3月、(共著) ・「保育者養成校の造形表現の授業における自然について」『清泉女学院短期大学研究紀要』第35号(2016)、清泉女学院短期大学、2017年3月、(単著) ・「保育者養成校の教育実習指導の授業についての一考察」『新島学園短期大学子ども学研究論集』第1号、新島学園短期大学、2017年9月、(単著) ・「演劇に関する研究の動向Ⅲ - 日本保育学会年次大会(1948~1985)における研究発表を中心に -」『有明教育芸術短期大学紀要』第9巻、有明教育芸術短期大学、2018年2月、(共著) <p><作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「葉の向こう」第66回 北信美術展(長野市 長野市生涯学習センター)、2015年10月4日~10月12日 ・「子どもたちの世界」第91回白日会展(港区・国立新美術館)、2015年3月18日~3月30日 ・「洞窟」第67回 北信美術展(長野市 長野市生涯学習センター)、2016年11月7日~11月13日 ・「春の日」第94回白日会展(港区・国立新美術館)、2018年3月21日~4月2日
キーワード	表現、造形、図画工作、立体造形

氏名 成田 小百合 (ナリタ サユリ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 准教授、臨床心理士

専門領域 臨床心理学 (病院臨床、遊戯療法)

専門の概要 子どもと母親に関する心理臨床的問題が現在の研究テーマになっています。特に、遊戯療法、描画テストを専門として、臨床実践を研究と教育に結びつけて活動しています。

備考 <主な論文>
「子どもへの悩みからみた母親の成長」2008年 新島学園短期大学紀要第28号
「保育学生における母子画の標準タイプ—保育者志望動機との関連」2010年新島学園短期大学紀要第30号

「わが子へのケアから他者へのケアへ—重症心身障害者の母親における他者との関係性に基づいた世代性の類型化」比較文化の地平をひらく p 358～P370 2014年 開文社

<地域活動>
2010年11月 渋川市役所：女性のためのアサーション講座：講師
2011年年9月 渋川市役所：コラージュの体験：講師
他

<所属学会>
日本心理臨床学会、日本発達心理学会、日本描画テスト描画療法学会 他

キーワード 子ども、母親、心理臨床、母子画、遊戯療法、トラウマ

氏名 八幡 眞由美 (ヤハタ マユミ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 准教授
学位 博士 (ヒューマン・ケア科学) 筑波大学
専門領域 子育て環境、子育て支援、児童文化・児童文学、保育
専門の概要 研究課題は「乳幼児連れが安心して外出できる環境に関する研究」です。子どもを持つ保護者が安心して外出できる環境を整えるとともに、誰もが快適に生活できる社会にすることを目的としています。

備考

<著書> いずれも共著

- ・保育原理 2017 ㈱みらい
- ・マンガで学ぶ保育内容総論 2016 保育出版社
- ・保育内容 言葉 2016 大学図書出版
- ・保育原理 2016 大学図書出版
- ・家庭支援論 2014 保育出版社
- ・保育内容「言葉」 2012 ㈱みらい
- ・プロとしての保育者論 2011 保育出版社
- ・子育て・子育て支援学 2011 保育出版社

<論文>

- ・ Difficulties Faced by Parents Going out with their Infants -the need felt by parents carrying buggies-, *The Asian Journal of Child Care*, 7. 2016
- ・ Barriers on the road for people traveling with toddlers who are vulnerable road users -Focused on the survey subjecting parents-, *The Asian Journal of Disable Sociology*, 15. 2016
- ・ 乳幼児連れを感じる駐車場利用時のバリア—保護者対象質問紙調査を中心に—, 新島学園短期大学紀要 36 号. 2016
- ・ 交通障害者である乳幼児連れの移動上のバリア～子どもの遊び場におけるベビーカー使用者のバリアを中心に～, 障害理解研究第 15 号. 2014
- ・ Barriers for Infants While Walking Felt by Nursery Teachers, *The Asian Journal of Child Care*, 5, 2014.03

<外部資金獲得状況>

乳幼児を持つ保護者の外出の理解に関する一般市民の認識
平成 28 年度健康づくり研究助成「あさを賞」(群馬健康づくり財団),
期間 2 年, 研究代表者: 八幡眞由美

<外部委員>

- ・『乳幼児教育学研究』編集協力委員 2016 年度 (日本乳幼児教育学会)
- ・神川町子ども子育て委員 2016 年度～

<社会活動>

- ・高崎市中央公民館 読み聞かせスキルアップ講座 (全 4 回) 講師 2015.11
- ・前橋市東公民館家庭教育学級 (後期) もっと! すくすくおやこスクール
講師「絵本は心の栄養です」2012.11
- ・前橋商工会議所主催 まちなかキャンパス講師 (全 3 回) 2012.7

キーワード 保育、幼児教育、子育て環境、子育てバリアフリー、児童文化・児童文学

氏名 小菅 ゆみ (コスゲ ユミ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 専任講師

専門領域 児童福祉

専門の概要 児童福祉施設で直接処遇に携わる保育士の養成を専門としています。
児童相談所、児童自立支援施設ぐんま学園等現場での経験から、自立とは？
自立支援とは？ といったことを常日頃考えています。

キーワード 保育士、児童自立支援施設、自立、寄り添う

名前 清水 洋生 (シミズ ヒロオ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 専任講師
学位 教育学修士 (千葉大学)
専門領域 「子どもはなぜ遊ぶのか」というアポリアへの追及を、道徳性発達 (規範意識) という切り口で研究しています。その他、保育者養成科目 (健康領域) についての理論的基礎研究を行っています。

備考 <論文>

- 幼稚園教諭・保育士養成課程における「健康科学論」の講義に関する考察 新島学園短期大学研究紀要、第 37 号
- (文部科学省委託研究) 少子時代の道徳教育充実策に関する研究～教員養成学部と教育委員会の連携による教員研修の推進～(第一次報告)、千葉大学教育学部(共著)
- 幼児教育における遊びの機能 新島学園短期大学研究紀要、(投稿予定)
- 幼稚園教育要領における教育内容の変遷—領域「健康」を中心に— 新島学園短期大学研究紀要、(投稿予定)

<その他>

- 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会、東京都新宿区、公益財団法人新宿未来創造財団事業共催:GTF キッズスポーツサミット」 講師(2013)
- 「東京都新宿区、公益財団法人新宿未来創造財団事業共催: GTF キッズスポーツサミット」 講師 (2014)
- 「東京都新宿区、公益財団法人新宿未来創造財団事業共催: GTF キッズスポーツサミット」 講師 (2016)
- FedEx CSR project in JAPAN - Kids DREAM PROJECT -
- その他、小学校での外来講師、企業の CSR 活動の講師など

<出演等>

なし

キーワード：認知発達、遊び、道徳性発達 (規範意識)、保育者養成

氏名 増田 泉 (マスダ イズミ)
所属 コミュニティ子ども学科
職名 専任講師

専門領域

国語科教育学を専門とし、特に、論理的文章の読み方・書き方の指導法、伝統的な言語文化の指導法の研究に取り組んでいます。

備考

<著書>

- 『国語科授業の新展開 47 詩の楽しさを教える授業』共著 1988 年, 明治図書
- 『「読みの授業の筋道」中学校編1 小説教材』共著 1990 年, 明治図書
- 『「ごんぎつね」の言語技術教育実践 言語技術教育シリーズ第5巻』共著 1997 年, 明治図書
- 『「話し方・聞き方」新教材と授業開発上・下巻』共著 2000 年, 明治図書
- 『論理的思考力を育てる段落指導用教材集成』共著 2002 年, 明治図書
- 『新国語科の重点指導第7巻「伝統的な言語文化を教える1」』共著 2009 年, 明治図書

<学会発表>

- 『物語を読むための言語技術「あらすじ・描写・登場人物像の変化」』2014 年日本言語技術教育学会第 24 回大会
- 『作文指導の研究—教材の傾向と対策』2015 年, 全国大学国語教育学会第 129 回大会
- 『小論文指導と教材の役割』2016 年, 全国大学国語教育学会第 131 回大会
- 『小学校国語科における伝統的な言語文化の指導法』2017 年, 全国大学国語教育学会第 132 回大会
- 『「伝統的な言語文化を楽しむ」言語技術を提案する』2017 年, 日本言語技術教育学会第 27 回大会

<論文>

- 「論理的文章の書き方の技術 週ごとの指導計画の書き方」明治図書『教育科学国語教育』No.729
 - 「物語文＝授業をイメージした学習活動の組み立て方 音読・あらすじ・描写・変化・感想」明治図書『教育科学国語教育』No.785
 - 「文学教材の授業で身に付けさせる言語技術の明確化」日本言語技術教育学会紀要 No.25
 - 「理科と日常をつなぐ言語化と意識化」東洋館出版社『理科の教育』No.757
 - 「意欲的に書くために実物を示す」明治図書『教育科学国語教育』No.792
- 「表やグラフを使って文章を書く」につなげる言語技術」日本言語技術教育学会紀要 No.26

問い合わせ先

〒370-0068

群馬県高崎市昭和町53

新島学園短期大学

TEL.027-326-1155 FAX.027-324-1444

<https://www.niitan.jp/>